

# KBC映像組合新聞

E-mail: kbceizo uni@r2.dion.ne.jp

## 月例賃金と諸要求の一次回答について 4月21日(月)～28日(月)の 職集期間で協議を行って下さい。

4月21日(月)から28日(月)の期間で職集を行い、「春闘要求の月例賃金および諸要求に対する一次回答」についての協議を行って下さい。

30日(水)に意見の集約を行います。一次回答についてみなさんの率直な意見をお聞かせ下さい。

### 第5回地連委員会報告

4月12日(土)に第5回地連委員会が行われ、単組からは山田書記長が参加しました。

委員会では、各単組より今春闘についての経過報告が行われ、KBC映像労組は『一次回答では、過去最高である1800万円の営業利益を見込んでいるにもかかわらず、ベアゼロの回答だった。会社は理由としてKBCの会社の編集センター構想のための編集室返室に伴う特別損失を挙げた。リフレッシュ手当の凍結は解除されたが、有期雇用者には適用されない。』等の報告を行いました。

すると地連より『編集室の返室は経営者判断で行われ、しかもKBCの会社の都合で行われたものであるのに、その負担を従業員の賃金に転嫁するのはおかしい。補償がどのようになっているかの契約内容を調べる必要があるのではないかと。また、リフレッシュ手当に関しては、賃金の未払いにあたる可能性があるのでは、過去にさかのぼって請求できるのでは?』という指摘がありました。

他単組では、RKB映画社労組から『過去最高の売り上げが見込まれており、3万円の別封が提示されているが、月例賃金はベアゼロの回答をしてきている。過去最高の売り上げである以上、三次回答ではなんとしてもベアを勝ち取りたい』と報告がありました。(その後4月14日の三次回答でベア500円の有額回答が出ました。快挙!!! 裏面に地連ニュースを掲載しています)

TNCプロジェクト労組からは不当処分問題について『3月末日の内示で4月から元の職場(TVマスター)に戻り、主任手当も復活した。この問題は、現在労働局に申し立てを行っているので、争議の今後については報告を行います』と進展があったことの報告がありました。

また、三次回答で100円のベアを獲得したTNC労組からは、ベア獲得までの経緯について『TNC50周年の特番に壁ストを構え、結果的にベアを獲得できました。しかし、スト=ベアの獲得という訳ではなく、それまでの朝ピラなどの運動や、最後は組合員全員が団結して、ベアを訴えたことの効果が大きかったのではないかと』という報告がありました。

委員会では最後に『なかなか要求を解決するのが難しくなっているが、TNC労組のように地道に努力していきましょう』と組合活動の基本を再認識し解散となりました。

**RKB映画社労組に続け!ベア獲得に向けて団結して頑張りましょう!**

### 【今後のスケジュール】

4月21日(月)～28日(月) 春闘要求一次回答 職集期間

4月30日(水) 職集意見集約日

5月 1日(木) メーデー

(組合新聞はインターネットでも見るができます。『KBC映像労組』で検索して下さい。)

**安定した雇用を勝ち取ることが会社を守ることにつながる**